

環境経営レポート

有限会社田中企画

2023 年度
第 18期

(取組期間 2023 年4月1日 ~ 2024 年3月31日)



® 環境省

エコアクション21

認証番号 0001275

発行日: 2024年5月31日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	8
環境経営目標及びその実績	8
環境経営計画の取組結果とその評価	8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	11
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	12
これまでの環境活動の紹介	12



自然豊かな交野



□ごあいさつ

有限会社田中企画は「^{ごみ}誤美から^{ごみ}護美への企画」をモットーに“環境を^{まも}る”取組を行っています。
人間生活から出るゴミ 事業活動から出るゴミ ゴミ箱へ捨てればいい、すべて目の前から消えてなくなればそれできれいになった、と思われるでしょう。
しかし、私達はそれを誤りだと考えます。
その今までであったゴミがどのような方法で処分され、また、どのように有効利用されるのかを企画していくことで、『資源保護』『環境保護』につながっていくと考えております。

環境経営方針

「資源保護」や「環境保護」を通して、本業である産業廃棄物収集運搬及び中間処理の事業活動における環境負荷の低減を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境課題の解決に向けた活動に自主的・積極的の取り組みます。

環境保全が経営の重要課題であることを踏まえ、環境システムを構築・運用し、全社一丸となって環境保全活動に取組み、環境経営の継続的改善を図ります。さらに、顧客要求に真摯に向き合い、顧客満足度の向上を目指し、その要求に応えるためにも、従業員が働きやすい職場環境を整備し、従業員一丸となって環境コミュニケーションへの取組を推進をしていきたいと考えています。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
2. 以下について具体的な環境目標を定め、実施計画を立て、継続的改善に努めます。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減のために、省エネルギー（電気・燃料）に努める 
 - ② 資源の有効利用のためにコピー用紙の削減、節水に努める  
 - ③ 受託した産業廃棄物の再資源化促進に努め   
 - ④ 受託先にリサイクル化、書類の電子化提案を促進する   
 - ⑤ 顧客の環境負荷削減に貢献する   
3. 環境経営活動の取組のために、社員が働きやすい職場環境の整備に努めます 
4. 当社のために働くすべての従業員にこの環境経営方針を周知します。 

制定日：2006年5月13日

改定日：2023年5月13日

取締役 田中 茂年

組 織 の 概 要

- (1) 名称及び代表者名
有限会社田中企画
取締役 田中 茂年
- (2) 所在地
本 社 大阪府交野市星田北一丁目44番1号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 田中 佳菜子 TEL:072-810-2333
担当者
- (4) 事業内容
産業廃棄物の収集運搬・中間処理、特別管理産業廃棄物の収集運搬

(5) 事業の規模

法人設立 1995年2月28日
資本金 300 万円
売上高 6511 万円

本社			
従業員	5	名	
延べ床面積	1460	m ²	
受託した産業廃棄物の処理量			
収集運搬量	1,080.41	t	
中間処理量	276.740	t	うち再資源化量 216.890 t
最終処分量			
中間処理後の産廃の処分量	276.740	t	うち再資源化量 216.890 t
車種	台数	備 考	
8.0tアームローラー	1 台		
2.9tユニック車	1 台		
軽トラック冷蔵車	1 台		
合計	3	台	

主要設備

名称	台数	備考
破砕機	1 基	
破砕機	1 基	

積み替え保管施設

名称	保管面積	保管上限	備考
積み替え保管施設	174.8 m ²	54.7 m ³	

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 有限会社田中企画
対象事業所： 本社
活 動： 産業廃棄物の収集運搬・中間処理、特別管理産業廃棄物の収集運搬

事業の紹介

産業廃棄物収集運搬業

大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県の収集運搬ができます。(品目は許可内容参照)

産業廃棄物処分業

すべての自治体の優良産廃事業者を取得しています。

大阪府 産業廃棄物中間処理(破碎)を行っています。(品目は許可内容参照) 優良産廃事業者です。

電子マニフェスト【JWNET】【e-reverse】、電子契約【er-contract】に対応しております。

産業廃棄物の仕分け



産廃が持ち込まれる



大きな物は重機で



細かい物は手作業で



破碎機へ投入



細かく破碎され出てくる

再生資源は種類ごと、細かく仕分けしています(写真は一部です)



ダンボール



新聞紙・雑誌
等



銅線



銅

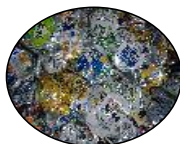


アルミ



スクラップ

アルミ缶リサイクル



空き缶



破碎機



破碎



アルミチップ



トラックスケールによる正確な計測



計量証明業者



10kg多淫で計測します



大阪府計量協会による定期的な検査も受けています



運搬車両・分別容器



8tアームロール



2.9tユニック車



3.0mコンテナ



アームロール用コンテナ
6.5 8.5 13 16m³



フレコンバッグ
大きさはいろいろ
フレコン用スタンドも
あります



軽トラ冷蔵庫

分別容器はお客様に合わせてご用意いたします。
廃棄物によって容器もいろいろ取り揃えております。
分別のご提案もしています。

環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2023年4月1日



	役割・責任・権限
代表者 社長	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認 ・従業員に対する教育訓練の実施(専門教育) ・実施体制の構築
環境活動責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境経営の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認。 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) ・従業員への環境経営方針の周知 ・従業員に対する教育訓練の実施(一般教育) ・環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練(指導/社長)を実施、記録の作成 ・問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営へ参加

□許可の内容

保有許可一覧

産業廃棄物中間処理業																			
都道府県 及び 政令都市	積替 保管	許可取得年月日 及び 有効期限	許可番号	燃 え 殻	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	廃 プラスチック類	紙 くず	木 くず	織 維 くず	動物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	鉍 さい	が れ き 類	積替え保管施設の 所在地及び面積 許可の条件等
大阪府	無	2022年5月30日 2029年5月29日	02720103042						●	●	●	●		●	●	●			

事業区分 中間処理(破碎)

破碎施設 ①能力:91.3m³/日 設置年月日:平成15年(2003年)3月26日

②能力:7.7m³/日 設置年月日:平成18年(2006年)3月27日

産業廃棄物収集運搬業																			
大阪府	有	2022年5月30日 2029年5月29日	02710103042	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	※1
京都府	無	2022年7月17日 2029年7月16日	02601103042		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
兵庫県	無	2023年7月 4日 2030年7月 3日	02803103042		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
奈良県	無	2023年8月31日 2030年8月30日	02900103042		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
滋賀県	無	2020年7月 9日 2027年7月 8日	02501103042						●	●	●	●		●	●	●		●	

※1 積み替え保管施設の所在地及び面積、許可条件等

所在地 交野市星田北一丁目323番、324番1

面積 174.8m²

積上げ高さ 1.3m

積替えてできる産廃の種類 汚泥・廃酸・廃アルカリ・鉍さい(石綿含有産業廃棄物を除く)

がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)

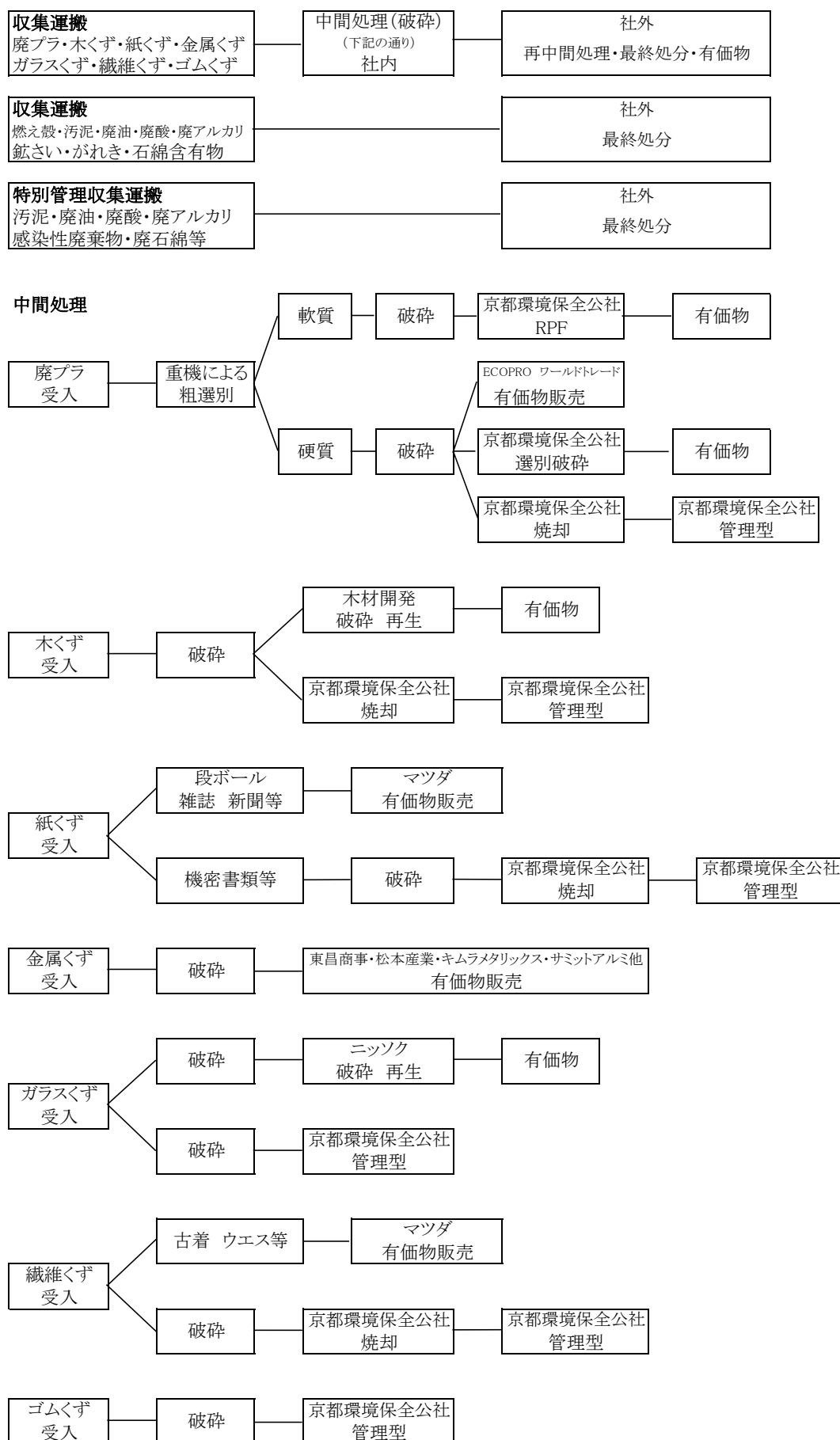
廃プラスチック類・ガラスくず(石綿含有廃棄物に限る)

特別産業廃棄物収集運搬業													
都道府県 及び 政令都市	積替 保管	許可取得年月日 及び 有効期限	許可番号	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	感 染 性 廃 棄 物	汚 泥	鉍 さい	廃 石綿等	ば い じ ん	燃 え 殻	積替え保管施設の 所在地及び面積 許可の条件等
大阪府	無	2023年4月26日 2030年4月25日	02750103042	●	●	●	●	●		●			
京都府	無	2018年5月16日 2025年2月13日	02651103042	●	●	●	●			●			
兵庫県	無	2023年7月 4日 2030年7月 3日	02853103042	●	●	●	●			●			
奈良県	無	2023年8月31日 2030年8月30日	02950103042	●	●	●	●			●			

優良マークは、優良確認産業廃棄物業者として認められた許可証です。有効期限は7年となります。



□廃棄物処理フロー



主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	11,859	10,192	10,451
Scope1(化石燃料)	kg-CO2	10,780	9,089	9,210
Scope2(電力)	kg-CO2	1,079	1,103	1,241
受託収集運搬量	トン	1,142	1,072	1,080
受託中間処理量	トン	307	271	277
受託最終処分量	トン			
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	47.5	45.5	37.5
産業廃棄物排出量	トン			
総排水量	m ³	10.1	13.0	16.9
※電力の二酸化炭素排出係数(調整後)		0.318		
関西電力 R1年度実績 R3.7.19		関西電力		

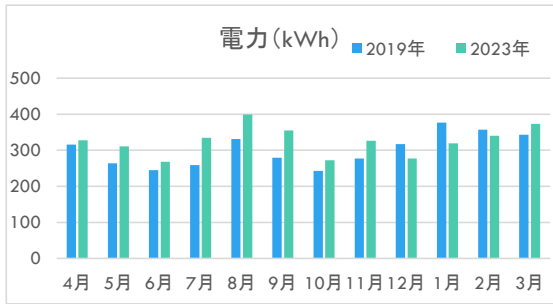
環境経営目標及びその実績

項 目	年 度		2019年度	2023年度		評 価	2024年度	2025年度
			(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減 CO2排出係数0.318kg-CO ₂ /kWh 関西電力 R1年度実績 R3.7.19一部追加・更新	kWh		3,608	3,601	3,903	×	3,601	3,601
	基準年度比			99.8%	108.2%		99.8%	99.8%
	kg-CO ₂		1,147	1,145	1,241	×	1,145	1,145
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		9,066	9,066	9,210		9,066	9,066
	基準年度比			100.0%	101.6%		100%	100%
	燃費(km/ℓ)		7.6	8.3	7.9	×	8.3	4.7
自動車燃費(ガソリン)向上	燃費(km/ℓ)		7.6	8.3	7.9	×	8.3	4.7
	基準年度比			109.5%	103.9%		109.5%	102.5%
	燃費(km/ℓ)		4.6	4.7	5.5	○	8.3	4.7
自動車燃費(軽油)向上	燃費(km/ℓ)		4.6	4.7	5.5	○	8.3	4.7
	基準年度比			102.5%	119.6%		109.5%	102.5%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂		10,213	10,211	10,451		10,211	10,211
一般廃棄物の削減	kg		48.5	48.5	37.5	○	48.5000	48.5000
	基準年度比			100%	77%		100%	100%
	%		—	86%	87%	○	86%	86%
受託廃棄物のリサイクル率の向上								
水道水の削減	m ³		21.0	21.0	16.9	○	21.0	21.0
	基準年度比			100%	80%		100%	100%
環境に配慮したIT化の促進	行動目標(次項による)							

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標:○達成 ×未達成
活動:○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	目標達成率92.3% 結果は未達成。取り組みに関して、不要照明の消灯、日射作業は問題なく取り組めていたので評価する。空調温度(特に冷房)の適正化はできていなかったと考える。次年度は適正温度に遵守するよう努力する。目標設定の変更はしない。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	△	
・不要照明の消灯	○	
・工場内の昼間(日射)作業	○	



取組紹介欄

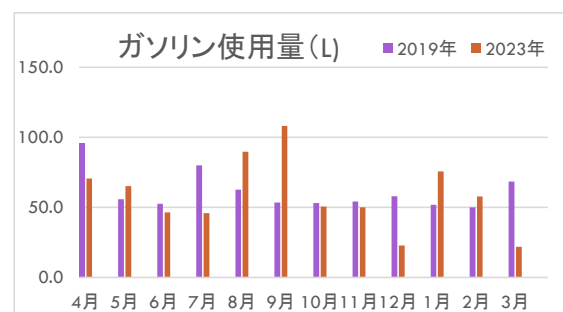
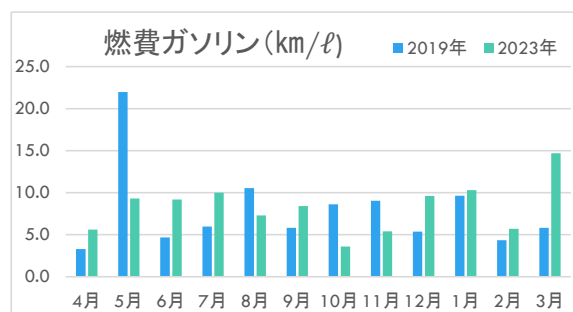
節電注意喚起

構内・事務所 LED照明

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合
2019年	316	264	245	259	331	279	243	277	317	377	357	343	3,608
2023年	328	311	268	335	399	355	272	326	277	319	340	373	3,903

(kWh)

自動車燃料による二酸化炭素削減 自動車(ガソリン)燃費向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	ガソリン累計燃費 目標達成率95.2% 未達成 取組に関しては問題なくできていたと評価します。ただ、近距離走行が多いことが燃費を悪くしている理由ではないかと考えます。次年度はこれらの理由を考慮して運転方法を見直します。目標設定の変更はしない。
・アイドリングストップ	○	
・急加速の抑制	○	
・冷暖房の控えめ使用	○	

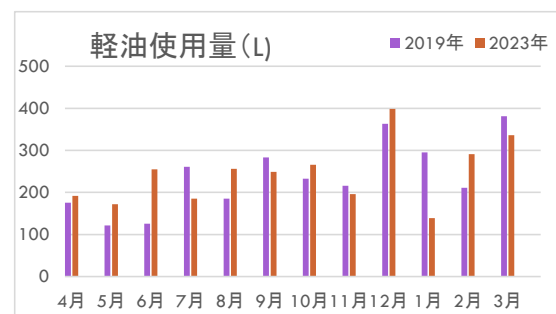
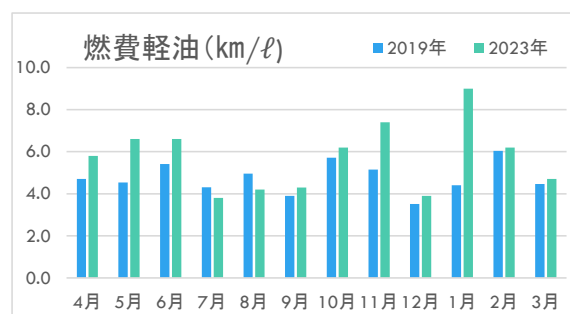


燃費	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合
2019年	3.3	22.0	4.7	6.0	10.6	5.8	8.6	9.0	5.4	9.7	4.4	5.8	95.2
2023年	5.6	9.3	9.2	10.0	7.3	8.4	3.6	5.4	9.6	10.3	5.7	14.7	99.1

燃料使用	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合
2019年	96.1	55.8	52.6	80.0	62.7	53.4	53.2	54.2	58.0	51.8	50.0	68.4	736.3
2023年	70.6	65.2	46.5	45.9	89.8	108.3	50.7	50.1	22.8	75.7	57.8	21.8	705.0

※燃料使用による二酸化炭素削減目標は業務上困難なため、燃費向上を環境取組とする。評価は燃費に対するものである。

自動車燃料による二酸化炭素削減 自動車(軽油)燃費向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	軽油累計燃費 目標達成率117.0% 達成 取組はすべて良いと評価します。軽油者に関しても近距離走行が多く、コンテナ装脱着時、ユニック作業時は効率よくできるように今後も努力する。
・アイドリングストップ	○	
・急加速の抑制	○	
・冷暖房の控えめ使用	○	
・適正荷積み	○	



燃費	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合
2019年	4.7	4.5	5.4	4.3	5.0	3.9	5.7	5.1	3.5	4.4	6.0	4.5	###
2023年	5.8	6.6	6.6	3.8	4.2	4.3	6.2	7.4	3.9	9.0	6.2	4.7	###

燃料使用	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	175	122	126	261	185	283	233	216	363	295	211	381	2,852
2023年	192	172	255	185	256	249	266	196	399	139	291	336	2,936

※燃料使用による二酸化炭素削減目標は業務上困難なため、燃費向上を環境取組とする。評価は燃費に対するものである。

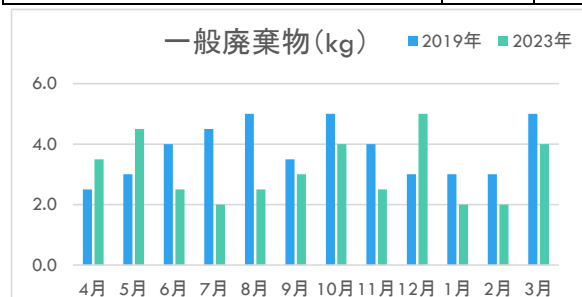
取組紹介欄



項目	内容	単位	数値	単位	数値
ガソリン	燃費	km/ℓ	95.2	燃費	km/ℓ
ガソリン	使用量	L	736.3	使用量	L
軽油	燃費	km/ℓ	117.0	燃費	km/ℓ
軽油	使用量	L	2,936	使用量	L

←給油した際に、作業日報へ燃費計算し記入

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成率129.3% 達成 ミスコピーの防止取組と特に強化し、目標達成維持継続に努める
・パソコンによるFAX送受信	○	
・裏紙仕様	○	
・ミスコピーの防止	○	



取組紹介欄



ペーパーレス化・・・取組中

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合
2019年	2.5	3.0	4.0	4.5	5.0	3.5	5.0	4.0	3.0	3.0	3.0	5.0	###
2023年	3.5	4.5	2.5	2.0	2.5	3.0	4.0	2.5	5.0	2.0	2.0	4.0	###

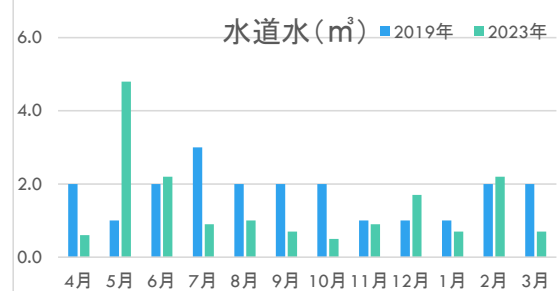
受託廃棄物のリサイクル率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成率100.8% 達成 今年度は罹災廃棄物が多くありました。罹災物はリサイクルができません。すべて焼却扱いになります。石膏ボードは新材、解体、クロス付等に仕分けリサイクル率の向上に努めています。
・従来通り廃プラ、木くず、紙くず、金属くずの	○	
・手選別による仕分け強化	○	
・保管中の廃棄物がほかの廃棄物と混ざらないような設備構造	○	
・廃棄物受入混入禁止物チェック	○	

取組紹介欄



一般廃棄物、危険物の持込やコンテナへの混入が多いため、排出業者への仕方方法の指導を行っている(注意喚起通知の一部)

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成率124.2% 達成 罹災物が持ち込まれた際に廃棄物に水を撒くので、今年度5月、6月、12月は水道使用量が増加しており、評価も×となっている。毎月のチェックがあるからこそ、増減も確認できる。今後もこまめなチェックを怠らない。
・節水運動	○	



取組紹介欄



水回りに貼付
注意喚起



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合
2019年	2.0	1.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	###
2023年	0.6	4.8	2.2	0.9	1.0	0.7	0.5	0.9	1.7	0.7	2.2	0.7	###

(m)

人材を活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・職場環境の改善	○	自分から何かをするという意識の高い人材が不足しているように感じます。言われたことはできるが、イレギュラー対応ができないのが実情です。そのあたりを改善できるようにすることが、次年度の課題とします。
・社員の労働環境改善	○	
・社員意識向上	△	
・社員へのコミュニケーション促進	△	

環境に配慮したIT化の促進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・顧客要求の変化への対応	○	電子Manifestoの使い方がわからないという問い合わせが多々あり、画面を見ながら説明をするという事例が何度もありました。排出前に電子Manifestoの必須項目、入力方法を書いたものをお渡しする形で、当日慌てることなく発行していただけるよう対応をしていますが、入力ミスが多いのが実情です。今後対策を考えることが課題です。
・電子データ化、IT化の促進	○	

鉄、アルミ、ステンレス、銅などの鉄、非鉄類の分別はもちろんのこと、□
 そのほかに 基板、配電盤、分電盤、ブレーカー、コンセントなど機械製品をを分解すると
 たくさんの金属部品が出てきます。これらも種類別に仕分けしています。□



法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	収集運搬及び中間処理業許可、契約締結・マニフェスト適正管理(詳細許可内容確認)
家電リサイクル法	再商品化に必要な料金の支払い 適正処理(テレビ・洗濯機・エアコン・冷蔵庫)
自動車リサイクル法	リサイクル料金の支払い フロン回収 適正処理(車両全般)
資源有効利用促進法	パソコンメーカー自主回収の協力義務
消防法	消防設備の点検(構内・事務所)
自動車NOx・PM法	窒素酸化物排出基準・粒子状物質排出基準の適用(運搬車)
騒音規制法・振動規制法	特定施設の届出
フロン排出抑制法	フロン類使用の合理化及び管理の適正化、廃棄時のフロン回収(エアコン室外機)

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

取り組み期間中、外部からの苦情・要請等はありませんでした。

確認日:2024年3月31日

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2024年1月26日	■実施場所 構内
■参加者： 田中茂年 田中佳菜子 岩丸和樹 阿部菜穂	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 受託廃棄物からの火災が発生しない よう適正な処理指導。消火器設置場所の確認。運搬車両内での禁煙指導。	手順書の変更の必要 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子 ※排出事業者への指導 受入不可廃棄物 注意喚起文書を作成し 火災の危険性を理解して いただいています 受取不可廃棄物混入 注意喚起文書  おたけの廃棄物処理は「燃焼」(焚烧)と「不可燃物焼却」になります。 <u>たばこやライター</u>は一般廃棄物となりますし、上掲の図のように混入されました。火災となる危険 性が高いといえます。個で回収されることを希望します。 これらの廃棄物は、焼却している途中で可燃物と反応し、 可燃物の燃焼温度が上昇していかれます。ご指導ください。 産業廃棄物・・・燃焼炉での処理、灰の処理費、処理費不明にお断りください。 可燃物の【燃焼（焚烧）】と、【焼却炉】の一般廃棄物に分別ください。 対策にお応え下さい。ご指導をお願いします。 廃棄物、燃焼設備に分別を徹底していただきます。 産業廃棄物処理課 0422-24-6431 受取が不可能のものは 全て返却しています	

代表者による全体の評価と見直し・指示

環境経営計画の取り組み評価において、初めに、目標未達成となった電力使用量の削減は、施設内の昼間の作業や不要な時の消灯を徹底し、施設内外の照明や事務所のLED化も完了しており、取り組みは頭打ちとなっている。ただし、防犯対策として夜間の外灯は点灯したままであるが、取り組みに影響はないと考えられる。どの取り組みが目標達成に支障をきたしているのかは明らかでないが、これまで通りの取り組みを続け、気になるカ所は改善していく予定である。現時点では、目標設定の変更は考えていない。

軽油燃費向上の目標達成理由としては、高速道路の使用が大きく関係していると考えます。環境負荷の低減としては良いとしても、経済的観点から見ると経済負荷の増大が負担となります。環境負荷と経済負荷のバランスが難しいところです。

2023年5月13日、課題とチャンスの見直し検討から下記項目を環境経営方針に追加した。

・環境経営方針→3.環境経営活動の取組のために、社員が働きやすい職場環境の整備に努めます。

・環境経営目標→2.④受託先にリサイクル化、書類の電子化提案を促進する。

「電子化の促進」では、顧客との連絡ツールとしてFAXを取り止め、メールの送受信を推進するとともに、新規顧客に対しては電子マニフェストが主流であることを情報発信するなどの取組を行っている。電子マニフェストの導入には問題も多い。排出回数の多い顧客にとってはマニフェスト管理が楽になるといった点でうまく運用されている一方で、それに対し、少ない顧客にとっては使用頻度が低いため不慣れで、大きな苦勞が伴っているのが現状だ。それ故、導入した顧客から運用方法についての問い合わせが多く、業務に支障をきたすほどだった。ただし、推進をした側としては、しっかりとサポートすべきであると考え、実際に顧客に来店してもらい、パソコンと一緒にマニフェスト作成を行ったり、事前に設定方法や入力ポイントを文書で伝えているなど、さまざまなフォローに努めている。

今期は環境経営だけを考えて事業を行うのは難しいと感じた一年でした。

来期は環境と経営のバランスが良い結果を得られるように取り組みたいと思います。

代表取締役 田中 茂年

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

これまでの環境活動の紹介

社会貢献活動

社会貢献とし、「募金・寄付支援活動」を実施しています
募金・寄付支援として、
【ボトルキャップ】・【使用済み切手】・【ベルマーク】を収集し、国内外の医療・福祉・教育など、様々な事業の支援を行います



交野市の伐採作業を補助
重機で樹木等の積込

会社の周りは小学生の
通学路でもあるため
子どもたちが安全に通学
できるよう危険と思われる物の撤去をボランティアしています



小学生の「環境・リサイクル」の授業においてごみ分別を学ぶ施設見学

廃棄物の分別方法の話
ペットボトルリサイクルについての話
機械製品の分解体験



編集後記

我々は節電、節水、低燃費、リユース、リサイクルといった私たちでもできる環境保全を続けています。目標を定めて取組を行っていますが、最終結果、達成できなくても、日々取り組んでいること、環境について考えること、周囲に目を配ることが大切であると考えます。

「維持・継続」、同じことを続けることというのは、とても難しいことです。□

会社では従業員一人一人が、また、自宅でも家族一人一人がSDGs6番目、7番目、12番目の目標をコツコツ取り組んでいきましょう。小さな取組が世界の目標に繋がることでしょう。

環境管理責任者□